

第二部

高千穂町人口 ビジョン

- 1 高千穂町人口ビジョンの位置付け
- 2 高千穂町の将来人口推計
- 3 高千穂町人口ビジョンが目指す
将来像

(1) 高千穂町人口ビジョンの位置付け

高千穂町人口ビジョンは、これまでの人口推移 2065 年までの本町における人口推移を予測したものです。国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると、本町の人口は、2030 年に 10,000 人を下回り、さらには、2060 年には 5,000 人以下まで減少することが予測されています。将来にわたり、活力ある高千穂町を維持していくためには、人口減少に歯止めをかけ、人口規模を維持していくよう努めなければなりません。

この人口ビジョンは、町における地方創生の実現に向け、今後、町が目指すべき将来の方向性を検討していくための重要な基礎データとして活用されるものです。

(2) 高千穂町の将来人口推計

町における 2015 年までの人口推移の傾向に加え、人口の増減に関する仮定値を 4 パターン設定し、人口推計に関する分析を行いました。

各パターンにおける前提条件

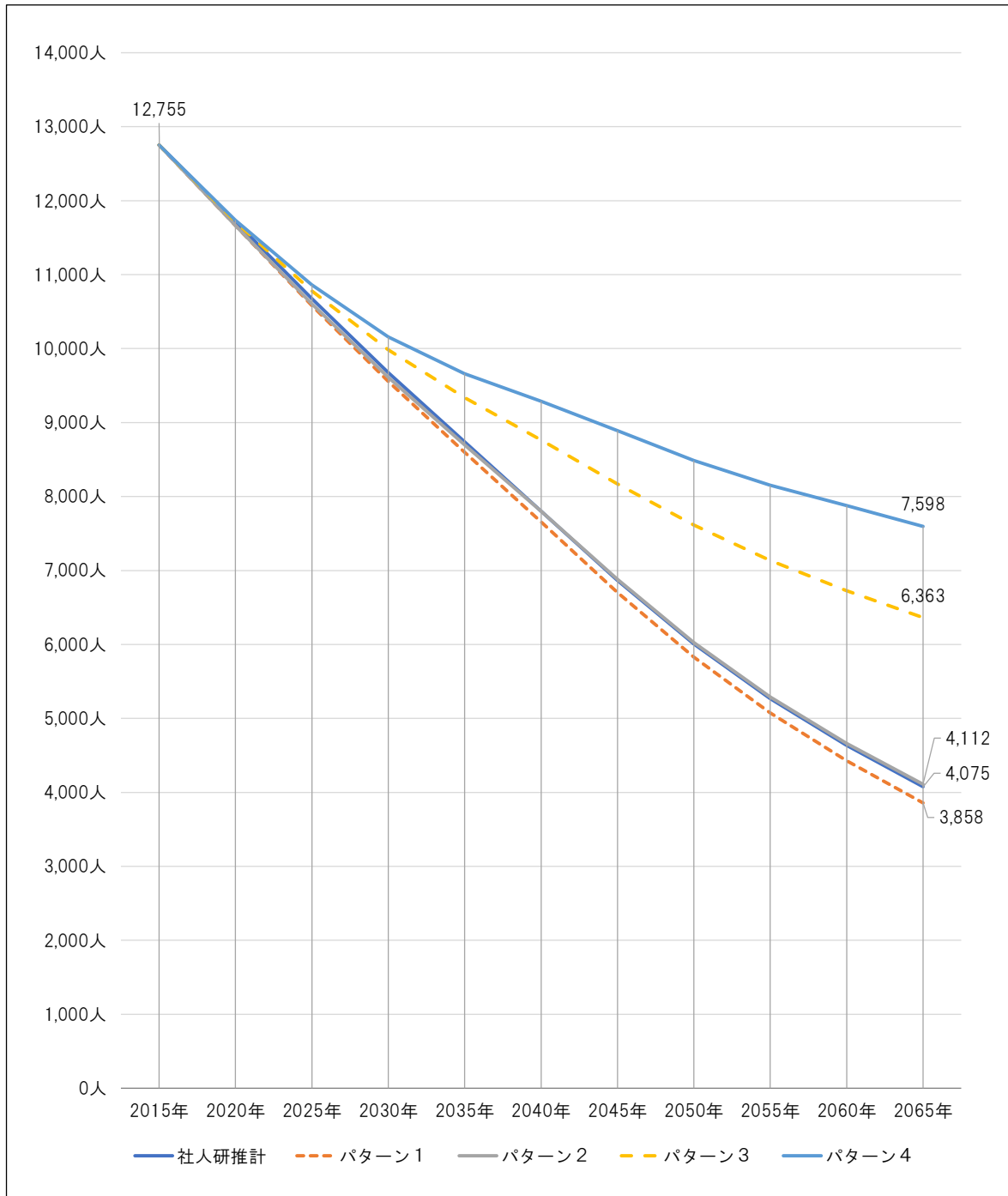
■ 基準となる合計特殊出生率

高千穂町の合計特殊出生率【平成 25～29】 (※現時点での最新値)	1.82
---------------------------------------	------

■ 推計パターンの解説

パターン1	合計特殊出生率が 1.82 のまま推移し、若年層の人口流出も抑制できない場合
パターン2	合計特殊出生率が段階的に 2.3 まで上昇するものの、若年層の人口流出は抑制できない場合
パターン3	合計特殊出生率が段階的に 2.3 まで上昇し、若年層の人口流出（転出者数）を段階的に 30%（2015 年比）抑制できる場合
パターン4	パターン3に加え、今後 UIJ ターン者が段階的に年間 12 世帯（20～40 代夫婦＋子ども 2 人の家庭が 8 世帯、リタイア世代夫婦 4 世帯）に増加、若年層の単身者が段階的に年間 10 人に増加するとした場合

2065年までの将来人口推計



	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
社人研推計	12,755	11,717	10,678	9,677	8,739	7,803	6,867	6,008	5,268	4,635	4,075
パターン1	12,755	11,666	10,586	9,555	8,599	7,658	6,706	5,829	5,075	4,430	3,858
パターン2	12,755	11,666	10,607	9,611	8,698	7,804	6,882	6,027	5,292	4,664	4,112
パターン3	12,755	11,717	10,782	9,984	9,338	8,765	8,171	7,614	7,136	6,727	6,363
パターン4	12,755	11,737	10,861	10,157	9,662	9,289	8,892	8,486	8,151	7,878	7,598

合計特殊出生率が現状の 1.82 のまま推移し、20-30 代という若年層の人口流出も抑制できないというパターン1では、2030年に人口1万人を切る9,555人、2065年には3,858人まで減少することが推計されています。

合計特殊出生率を段階的に2.3まで向上させるパターン2では、僅かに推計人口が増加し、2030年に9,611人、2065年には4,112人となっています。

パターン2に加えて若年層の人口流出（転出数）を段階的に30%抑制できるとするパターン3では、2030年に9,984人、2065年に6,363人となっており、改善幅が大きいことから、実際に子どもを産む若い世代の人口流出を抑制することが人口維持に効果が高いことがうかがえます。

また、2040年までに、さらに移住者数を段階的に年間50人まで増加させるとしたパターン4では、2030年に10,157人、2065年に7,598人となっており、大きな改善効果が見られることから、若い世代の流出抑制とあわせてUJターンを促進する施策の推進や、それにつながる雇用の場づくりを重点に置いて施策を立案していく必要があると考えられます。

(3) 高千穂町人口ビジョンが目指す将来像

本町においては、今後目指していく人口の将来展望として、パターン4の人口推計を人口ビジョンに設定します。また、人口ビジョンを実現するための数値目標として、以下のような目標設定を行います。

人口ビジョンにおける目標設定

項目	目標
総人口の中期目標	2030年に1万人程度を維持
合計特殊出生率	現状1.82（H25～H29）から、2040年までに2.3まで上昇
若年層の人口流出抑制	2040年に2015年比30%抑制
UJターンによる転入数	2040年に年間50人

人口ビジョンにおける将来人口推計

